

図書館の職員さんに聞いてみよう!
本のはなし

話題の
新刊本!



高野山参拝旅
(一般書)
高野山参拝旅完全ガイド
出版：東京ニュース通信社
真言密教の道場として空海が開創した高野山。宇陀市から車で2時間ほどで行け、真言宗の総本山金剛峯寺をはじめ、様々な寺社の情報や、近隣の観光施設、グルメなどの情報が満載です。春のお出かけのお供にぜひご利用ください。
(大宇陀図書館所蔵)



だるまん
(児童書)
だるまんが・だるまさんの・だるまさんと作：かがくいひろし
出版：ブロンズ新社

ロングセラーのだるまんシリーズのボードブックが入りました！サイズも小さいのでお子さんの手にも収まりやすく、親子で楽しめます。赤ちゃんへの初めての読み聞かせ、お子さんとの体を使ったコミュニケーションに、ひらがなを覚えた子の初めての一人読み絵本として、ぜひどうぞ！
(大宇陀図書館所蔵)

図書館からの
まめ知識

Vol.122

「下半期ベストリーダー」発表!

令和5年度の下半期に貸出が多かった本(ベストリーダー)を紹介します。
一般書の1位は、『あなたが誰かを殺した【加賀 恭一郎シリーズ】(東野 圭吾:著)、2位『青瓜不動』(宮部 みゆき:著)、3位『まいまいつづる』(村木 嵐:著)です。1位作品は、刑事の加賀 恭一郎が主人公のミステリーシリーズで人気です。
児童書では、1位が『かいけつゾロリのドラゴンたいじ2』(原 ゆたか:作)と『ぞんねんないきもの事典 続』(今泉 忠明:監修)と『ふしぎ駄菓子屋銭天堂』の3冊です。絵本では、昨年絵本ライブを開催した真珠 まりこさんの作品『おたからパン』『もったいないばあさん』『おべんとうバス』が1位～3位の順で人気!
今後、図書館で借りる本の参考にしてみてください。

図書館からのお知らせはP26

地域おこし協力隊
3年間の任期を終了

令和3年度に、鳥獣害対策の指導者や捕獲の担い手として、市の鳥獣害対策の中心となる人材の掘り起こしのため、「地域おこし協力隊」を募集し、玉城 正則さんと清末 信幾さんの2人を採用しました。
3年間の任期を終了された2人に今後の取り組みや任期中についての話を伺いました。

地域おこし協力隊 玉城 正則さん

主な業務は獣害対策を担当し、猿やモモンガなど珍しい動物の対応なども行いました。多種多様な動物が生息しており、獣害被害も多く、猟師の高齢化が進んでいると感じました。
宇陀市へ来た頃は全くの未経験でしたが、狩猟を通して感じた事や気付きや学びがたくさんあり、それらを子どもたちに知ってほしいと思うようになりました。学校やAIでは学べない事や伝えられない事がたくさんあると思います。獣の命から日本の歴史(日本最初の薬猟)、宇陀の歴史から食育、自然教育へとつながり 子どもの未来につながる活動をやりたいという思いが強くなりました。



狩猟の世界でもICT などテクノロジーがどんどん導入され便利になってきています。でも、本来の猟師は自然を利用したものだという思いから狩猟の伝統や文化を大事にし、便利な都会より田舎だからこそできること、田舎にあって都会にないもの、宇陀市にしかないものを形にして活動して行きます。

地域おこし協力隊 清末 信幾さん

狩猟も有害駆除も何も知らないところから始まりましたが、職場の方・知り合った市民の方々と一緒に活動した玉城さんに支えてもらい駆け抜けることができました。
とても貴重な経験が積めた3年間だったと思います。今後も任期中に得た知識と経験を活かして、微力ではありますが有害駆除とその個体の利活用を続けていきます。



子どもたちの安全を願って

3月11日

市教育委員会においてランドセルカバーの贈呈式が行われました。
このランドセルカバーは、小学校へ入学する新1年生を対象に、登下校時の安全を守るため、一般財団法人奈良県交通安全協会から毎年寄贈されています。
贈呈式当日は、交通安全協会桜井支部協会宇陀地区松本 匡司会長をはじめ桜井警察・市役所関係者が出席し、松本会長から教育長にランドセルカバー 146 個が手渡されました。



▲新1年生に寄贈されたランドセルカバー

交通安全キャラバン隊が来庁

4月10日

桜井・宇陀・東吉野地区交通対策協議会と桜井警察署が協働して結成した「交通安全キャラバン隊」が、キャラバン隊長に任命された奈良県警のマスコットキャラクター「ナポくん」とともに桜井市、宇陀市、曾爾村、御杖村、東吉野村の主要道路を啓発走行し、各市村役場に「交通安全メッセージ」の伝達および啓発物品を届けてくれました。



日頃から交通ルール、マナーに気をつけて事故のない安全な宇陀路を目指しましょう。



▲交通ルールを守りましょう!



消防団入退団式を開催 4月7日

大宇陀ふれあい交流ドームで「宇陀市消防団入退団式」を開催しました。
今年の新入団員は12人。式典では、立道 史哉さん(菟田野第1分団)が代表として、「良心に従い、忠実に消防の義務を遂行する」と力強く宣誓され、また退団者を代表して前副団長 葛城 隼央さんが謝辞を述べられました。
退団された皆さんは、災害現場での活動をはじめ、訓練や防火啓発、年末夜警など地域を守る取り組みとして、長年に渡り消防団活動に従事していただきました。今後は、消防団で培われた情熱を絶やすことなくますますのご活躍を期待しています。



▲退団者を代表して葛城さんからの祝辞



▲新入団員の皆さん